

GCL 講義 受講者各位

GCL 事務局  
内線：28746

グローバル・クリエイティブリーダー講義 2018

A1A2 セメスター 開講日と講義室に関するご案内

グローバル・クリエイティブリーダー講義 XI (国際制度とソーシャル ICT)  
開講日 9月26日(水) 6限 工学部3号館2階 GCL ラボ

グローバル・クリエイティブリーダー講義 II (Introduction to Management)  
開講日 9月27日(木) 6限 工学部3号館2階 GCL ラボ

グローバル・クリエイティブリーダー講義 VII (The 官僚)  
開講日 9月28日(金) 6限 工学部3号館2階 GCL ラボ

**GCL Lab は、工学部3号館  
LAWSON Store100 の隣です**

## 講義案内：A1A2 セメスター

### 4890-1041 GCL 講義 XI「国際制度とソーシャル ICT」

#### 【担当講師】

田中 正躬 元 ISO 会長  
藤野 仁三 東京理科大学専門職大学院・嘱託教授  
福田 泰和 日本規格協会執行役員  
田村 傑 経済産業研究所  
岩垂 邦秀 日本規格協会（標準化研究センター研究員）

#### 【概要】

工学系の学生が、将来、技術の利用や普及に際し直面する、国際的な調整や問題の発見・解決、将来の見通しに関する能力にみがきをかけ、世界のリーダーとして活躍する資質を育成します。国際制度は、条約によるもの、地域によるもの、国によるもの、自主的な集まりによるものなど、技術や社会の急速な進展により多様で複雑な形態をなしています。

本コースでは、国際標準に焦点を当て、科学技術、経済社会、制度の関係性と変遷、それらと係わる次のようなケースを取り上げ、議論、検討します。

- ・アップルとサムスンの知的財産権戦争
- ・危機に陥った日本発の技術（IC タグ等）
- ・技術ではトップを走る日本の鉄道技術が輸出で苦勞する理由など。
- ・標準は技術進歩の妨げになるか？
- ・中国は世界標準を支配できるか？

「評価」授業での議論への参加を主とする 期末に簡単なレポート

#### 【本講義で習得できること】

国際標準で経済や社会を見る“視点”を習得出来ること 特に国際標準を中心とする国際制度を知ることで、国際的な調整能力、問題発見解決能力、将来見通しの能力に磨きをかけられること。

また 同時に実務的な知識として、標準と特許や WTO 制度との関係、国際標準の作成方法、多くの国際標準を作る組織の特性、研究開発と標準の関わり、標準の考え方をを用いて信頼性を付与したり、リスクの管理の仕方等を習得できます。

#### 【講義タイトル】 …予定

- 9/26 田中 なぜ国際標準、知財等 国際制度が重要か？  
10/3 岩垂 ビジネス戦略と国際制度との係り、知財制度と国際標準  
10/10 藤野 事例研究 1（スマートフォン：標準化と知財戦略）  
10/17 藤野 事例研究 2（標準必須特許をめぐる紛争事例）  
10/24 田中 国際取引のルールと事業戦略  
10/31 田村 経済学・経営学から見た標準 ①  
11/7 田村 経済学・経営学から見た標準 ②  
11/21 田中 (討論)中国は世界標準を支配できるか  
11/28 福田 信頼を構築するための制度と国際標準  
12/5 田中 社会インフラの輸出（新幹線）  
12/12 岩垂 信頼構築の主体の変遷と多様化（民主化するマークとセキュリティ認証を事例にして）  
12/19 福田 (まとめ・討論)国際標準の将来と国の政策

#### 【参考書】

田中正躬 “国際標準の考え方：グローバル時代への新しい指針” 東京大学出版会 2017年

藤野仁三 “知的財産と標準化戦略” 八朔社 2015年

※講義内容は変更することがあります。